

ミナマガロの管理手続きのメタルールと実施に関する 科学的な課題の討議

M. バソン、T. ポラチェック、D. コロディー

要旨

この文書は、CCSBT管理手続きワークショップ（2004年4月）の議題5と6（「メタルール、評価ならびに特別な状況」と「実施の課題ならびにその他の検討事項」）のもとで、メタルールと実施の課題について科学的な討議を提供するものである。本文では、メタルールは例外的な状況に適用されるものと理解した上で、科学に直接関連するルールや課題を取り上げる。メタルールが必要となる状況については、資源についての改善された知識、試験された範囲外の評価結果、例外的な状況の明確な徴候、データの欠如もしくは意思決定ルールのコードを走らせることが不可能な状況など、別の分類のもとで討議する。メタルールは、それが使用される状況、そのような状況が適用するか否かの合意手続き、ならびにそのような状況が起きた場合の対応の性質を定義づける必要がある。各分類で必要となるメタルールの種類について考察した。場合によっては、メタルールの対応は単にオペレーティング・モデルの再条件化、および／もしくは意思決定ルール（あるいはMP）の再調整ということになるかもしれない。その他の場合には、より複雑な対応が必要となるかもしれない。

実施の課題については、主に意思決定ルールを走らせるために必要なデータおよびその他のインプットに関連するもの、ならびに意思決定ルールのコードが作動しないことを避ける、もしくは不作動を最低限にするための安全手段に関連するものである。いかなる意思決定ルールにおいても、将来のTACの調整に用いる意思決定ルールで使用するデータの信頼性が最も重要となる。MPのパフォーマンスの評価は、提供されるデータの信頼性と一貫性を仮定としている。従って、MPの実施に関する重要な課題は、データ・インプットの信頼性と一貫性である。メカニズムや検証の種類は主として管理的な課題であるが、MPのパフォーマンスの科学的なアドバイスは、この課題が適切に扱われていることを仮定としている。